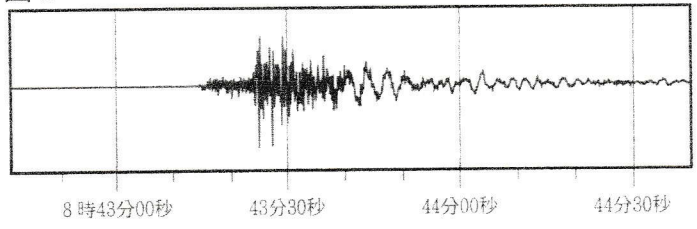


2. 地震が起こると、最初に小さなゆれを感じ、続いて大きなゆれを感じる
ことが多い。このときの小さなゆれはP波によるものであり、大きな
ゆれはS波によるものである。

図2は、ある地震が起きたときに、観測地点Aにおいて地震計で
ゆれを記録したものである。

また図3のグラフは、この地震のP波、S波が届くまでの時間と
震源からの距離との関係を示したものである。

図2



(1) S波による大きなゆれの
名称を書きなさい。
(主要動)

(2) 観測地点Aにおいて、
小さなゆれが始まってから、大きな
ゆれが始まるまでの時間として、
適切なものを、次のア～エから
1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア. 10秒 イ. 15秒
 - ウ. 25秒 エ. 35秒
- (ア)

図3

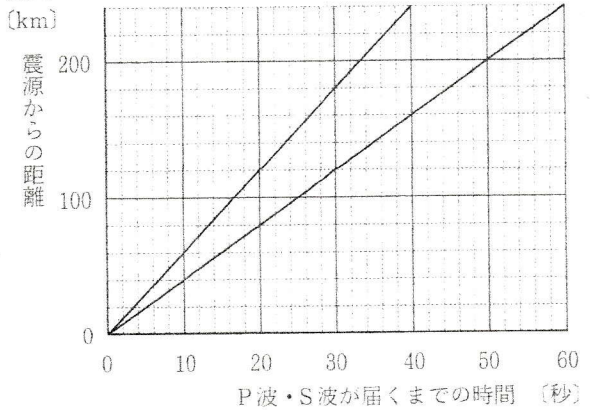


図2より、小さなゆれが始まった時刻は
8時43分15秒頃、大きなゆれが始ま
たのは8時43分25秒頃だから。

(3) 図3を用いて、震源から観測地点Aまでの距離を求めると
何kmか、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア. 90km イ. 100km ウ. 120km エ. 210km
- (ウ)

図3より、P波、S波の届くまでの時間の差が10秒になっている(1マス2秒)開き
の距離をみていくと、120kmのところかあてはまる。(縦軸は1マス20km)